

第1号議案資料

2024年度事業報告書及び決算報告書

2024年度事業報告書及び決算報告書

A. 事業報告

循環型社会の構築を目指し、行政・消費者・産業界が緊密な連携のもとに3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化、再生利用）活動を推進し、資源の循環利用を進めることを目的として、活動を行った。

2024年度は、国際標準化機構（ISO）の専門委員会ISO/TC323（サーキュラーエコノミー）において、資源循環に係る規格が複数発行された。

国内では資源有効利用促進法の見直しが行われ、資源循環を推進するための国の施策、産学官の連携した活動などが活発に行われている。

協議会においても、3R推進功労者等表彰や優秀3R推進活動発表会を通じて、資源循環の優良事例を表彰したり、紹介したりした。

また、3R・資源循環推進フォーラムとの共催セミナーでは、2024年度は旬のトピックとしてISO/TC323を含む海外動向を取り上げた。

企画運営委員会においては、年次の活動を審議すると共に、中期的な観点で協議会の活動をどのようにしていくかなども審議している。

個々の事業については、次ページ以降のとおりである。

2024年度事業報告書及び決算報告書

1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の実施

3 R活動に率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施した。

2024年3月に推薦要領を協議会会員団体、都道府県、政令指定都市、中核市、特別区、建設副産物対策地方連絡協議会に配付し募集を行った結果、15推薦機関（前年比8機関減）から74件（前年比10件減）の応募があった。

審査委員会（委員長 東京大学名誉教授 木村文彦氏 他13名）において厳正な審査を行った結果、内閣総理大臣賞1件、文部科学大臣賞1件、厚生労働大臣賞1件、経済産業大臣賞2件、国土交通大臣賞2件、環境大臣賞1件、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞6件、計14件（前年比14件減）を表彰するとの結論に至り、10月28日（月）に東京・竹橋のKKRホテル東京において表彰式を挙行了。

表彰式は、受賞者、同行者、推薦機関、報道機関含めて、55名のご出席があった。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行したものの、根絶したわけではないため、人と人の接触を最小限に抑える動線や座席レイアウト設計などの対策を施した。

2024年度事業報告書及び決算報告書

(1) 受賞者

内閣総理大臣賞（1件）

大成建設株式会社 サステナビリティ経営推進本部 カーボンニュートラル推進部
日本通運株式会社 資源循環営業部

文部科学大臣賞（1件）

SPLEA ICVs

厚生労働大臣賞（1件）

武田薬品工業株式会社 光工場 EHS室

経済産業大臣賞（2件）

アマゾンジャパン合同会社
キヤノン株式会社 / キヤノンエコロジーインダストリー株式会社

国土交通大臣賞（2件）

戸田建設株式会社 関東支店 常総IC周辺地区土地区画整理事業2・4街区物流施設新築工事
大鉄工業株式会社 大阪支店 ホーム柵推進部

2024年度事業報告書及び決算報告書

(1) 受賞者（続き）

環境大臣賞（1件）

株式会社ジモティー / 世田谷区

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞（6件）

男山株式会社

鹿島建設株式会社関西支店 龍谷大学深草工事事務所

清水建設株式会社 関西支店 （仮称）医誠会国際総合病院新築工事建設所

株式会社竹中工務店 大阪本店 GLP ALFALINK茨木Iプロジェクト

株式会社長谷工コーポレーション （仮称）京急電鉄川崎区本町新築工事

株式会社エーペックスジャパン

各受賞者の受賞活動は、次のURLで公開しております。

https://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki/jisseki_r06/

2024年度事業報告書及び決算報告書

（２）表彰結果の広報

受賞者の受賞した活動の概要をまとめた「令和6年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰結果発表」冊子を600部作成した。

プレスリリースの電子化（電子媒体での配布）が進んだことにより、印刷部数の必要数の見直しを毎年行っている。

（３）次年度に向けた対応

表彰件数は漸減傾向にあり、推薦募集件数の増加のための方策については、審査委員会において継続的に審議している。

表彰制度の開始当初（1992年）から比べて、資源循環が高度化しており、受賞するレベルが高くなっていることから、推薦するハードルも高くなっていると考えられる。その一方で、サーキュラーエコノミーに向けた動きが活発になっており、これまでになかった新しい形の資源循環の活動が生まれていることから、こうした活動が推薦されるように募集時の案内等を工夫していく余地があると考えている。

（４）スケジュール

募集の期間を長く置くために、前年度から募集を開始している。

2024年度事業報告書及び決算報告書

2. リデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークの普及・利用促進

企業・地方自治体・市民団体・業界団体・学校等の要請に応じて、3R実践活動や啓発・教育活動の場でリデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークを広く使用していただくことにより、3Rに対する意識の向上や啓発を図った。

具体的には3R推進功労者等表彰での冊子などで紹介するなどして、3Rに積極的に取り組む企業・グループ・団体等に対して3Rキャンペーンマークの利用を勧め、3R推進のアイコンとしての認知度向上を図ると共に、人々の目に触れる機会を増やして3Rに対する意識の訴求を図っている。

企業等からの申請件数は15件あった。ここ数年は毎年20件前後で推移している。

ここ数年は、教科書や副教材で紹介していただける機会も増えている。上記とは別に自治体からも数件使用したことのお知らせがあった。

2024年度事業報告書及び決算報告書

3. 活動強化策の実施

協議会活動を充実させるべく、活動強化策を継続している。内容については、企画運営委員会で審議の上で実施した。

(1) 企画運営委員会等の開催

1) 企画運営委員会

前年度に引き続き、協議会活動を充実させるべく活動強化策の具体的な内容の検討や意見交換を行った。

<実績>

第1回 2025年 4月30日（ハイブリッド開催）

（ポスター選考会） 2024年 7月16日（オンライン開催）

次ページに委員名簿を掲載する。

2024年度事業報告書及び決算報告書

＜2023・2024年度企画運営委員＞

(委員長)	田中 希幸	ガラスびん3R促進協議会 理事・事務局長
(副委員長)	根村 玲子	(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 環境委員会委員長
(委員)	加藤 聡	一般社団法人ガラス再資源化協議会 代表幹事
	新妻 弘章	建設副産物リサイクル広報推進会議
	工藤 操	一般財団法人消費科学センター 企画運営委員
	高橋 宏郁	スチール缶リサイクル協会 専務理事
	細川 浩之	一般社団法人セメント協会 生産・環境部門リーダー
	横川晋太郎	電気事業連合会 立地電源環境部長
	奥田 篤	一般社団法人日本ガス協会 企画部 エネルギー・環境グループマネジャー
	天川 紀子	一般社団法人日本建設業連合会 建築・安全環境グループシニアマネジャー
	塚原 正徳	一般社団法人日本産業機械工業会 環境装置部長
	大須賀竜治	一般社団法人日本自動車工業会 安全・環境領域2部 部長
	向井地博史	一般社団法人日本道路建設業協会 常務理事
	井出 安彦	公益社団法人日本包装技術協会 包装材料研究室長
	富田 齊	一般社団法人プラスチック循環利用協会 広報学習支援部長

また、3R・資源循環に係る省庁のご担当者、オブザーバーとしてご出席いただいている。

2024年度事業報告書及び決算報告書

(2) 企画内容

1) 優秀3R推進活動発表会

前年度の3R推進功労者等表彰の大臣賞受賞者に、受賞の取組や受賞後の発展について発表していただき、行政所管、産業分野を越えて広く共有化、普及啓発を図った。

日 時： 2024年6月10日 14:30～16:42

開催方法： オンライン開催

発表者： 株式会社リコー

東京ガス横浜中央エネルギー株式会社

日本製紙株式会社、特定非営利活動法人エコライフはままつ

東和ケミカル株式会社

株式会社HIKONE化成

社会福祉法人勇樹会

当日のご講演内容については、協議会ホームページをご参照ください。

<https://www.3r-suishinkyogikai.jp/seminar/winners/>

2024年度事業報告書及び決算報告書

2) 3 R推進ポスターの制作・配布

工場、工事現場、オフィス、流通などのビジネス現場や公共の場において事業者により3 R活動の推進を訴求する「3 R推進ポスター」を制作し、10月の3 R推進月間に合わせて会員団体に配布した。

ポスターのデザインは、協議会主催によるデザインコンテストで公募し、その最優秀賞作品を使用した。

コンテストはデザインを募集するという役割に加え、中学を卒業後、3 Rについて学ぶ機会の減った人たちに改めて3 Rについて考えていただくという意図もあり、募集に際しては3 Rを簡単に紹介したリーフレット『3 Rって何だろう?』を案内に同封し、協議会ホームページのコンテンツを紹介するなど、3 Rをもう一度再認識していただくように資料等を用意している。

<デザインコンテスト概要>

デザイン募集期間： 2024年3月1日 ～ 5月27日（郵送分）、6月3日（Webフォーム分）

応募作品数： 206点

<3 R推進ポスター>

ポスター印刷枚数： 500部（A1サイズ）

配付先： 444宛先

・協議会会員、地方公共団体、専門学校等に各1枚

2024年度事業報告書及び決算報告書

3) イベント等の協業（セミナー、シンポジウムの後援、共催、出展等）

（1）後援（日付は申請日）

- ・「実践活動としてのスチール缶を含む集団回収を通じて環境教育に取り組む小学校及び中学校への支援事業」（スチール缶リサイクル協会、2024年5月1日）
- ・「令和6年度建設副産物リサイクル広報用ポスター」（建設副産物リサイクル広報推進会議、2024年6月24日）
- ・「2024建設リサイクル技術発表会技術展示会」（建設副産物リサイクル広報推進会議、2024年8月28日）
- ・「第19回容器包装3R推進フォーラム」（3R推進団体連絡会、2024年11月21日）

（2）出展

- ・第18回3R推進全国大会
（環境省、環境省関東地方環境事務所、埼玉県、3R・資源循環推進フォーラム）
開催日時： 2024年10月24日

（3）共催

- ・3R・循環経済先進事例研究発表会（3R・資源循環推進フォーラムとの共催）
開催日時： 2024年12月23日 14:00～17:00
会場： ハイブリッド形式（AP八重洲及びオンライン）
- ・循環・3Rリレーセミナー（3R・資源循環推進フォーラムとの共催）
開催日時： 2025年2月14日 13:30～16:30
会場： ハイブリッド形式（AP新橋及びオンライン）

2024年度事業報告書及び決算報告書

4) 3R推進協議会事業活動の広報強化

(1) 「3R推進功労者等表彰」推薦応募の掘り起こしについて

- ・令和7年度の表彰に向けて、環境展などの会場において、資源循環に関連する活動を取組を行っている企業探しを行った。
- ・経済産業省の地方支分部局に対して表彰の紹介を行い、良い事例があったら事務局にお知らせいただくようお願いをした。

(2) ホームページ

- ・新着情報を中心に、協議会、協議会会員団体のトピック、3Rの関連情報を発信している。
- ・CMS（コンテンツ・マネジメント・システム、Webページの編集など行うためのツール）のバージョンが古くなっていることに伴う不具合を直すため、これらを最新版に直した。更新費用344,850円については、臨時の保守の費用のため、管理費から支出した。

2024年度事業報告書及び決算報告書

B. 決算報告

収入は予定どおりであったが、支出は予算に比べて8万円ほど増となった。
年度内の資産の増減という点では、83万円ほど減少した。

ほとんどの支出項目において予算より支出が少なかったが、3R推進事業費については、15万円弱増となった。ただし、共催セミナーにおいて案分することになっている費用23万円弱の請求が年度内に間に合わなかったため、実質的には92万円の支出となっている。

また、ホームページのソフトウェアの老朽化に伴う対応を行ったため、管理費については予算に対して33万年弱の支出増となっているが、一時的な影響である。

また、当年度は企画運営委員会、表彰の審査委員会のそれぞれにおいてハイブリッド形式も取り入れて行ったが、事務局（産業環境管理協会）の会議室で行ったので、支出はなかった。今後、対面式にするときには、事務局の会議室では収容できないため、その場合に備えて、継続して予算化を考えていく必要があると思われる。

収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録及び計算書類に対する注記は、次ページ以降のとおりである。

2024年度事業報告書及び決算報告書

B. 決算報告（続き）

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

2024年度収支決算書（2025年3月末時点）

自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月31日

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	4,050,000	4,050,000	0	
2. 雑収入（受取利息収入等）	0	2,918	2,918	
3. 前期繰越収支差額	5,239,000	5,239,109	109	
当期収入合計（A）	9,289,000	9,292,027	3,027	
II 支出の部				
1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰事業の実施	3,600,000	3,309,211	△ 290,789	委員会関係費、推薦要領・表彰結果冊子印刷費・発送費、表彰状作成費、表彰式会場費等
2. 3Rキャンペーンマークの普及	0	0	0	費用発生なし
3. 企画運営委員会経費	100,000	0	△ 100,000	委員会等は、オンライン形式で開催
4. 3R推進事業費	1,000,000	1,145,530	145,530	Webサーバーレンタル費、ドメイン名使用料、優秀3R推進事例発表会（講演謝金のみ）、3R推進ポスター（作品募集、印刷、賞金）、3R・資源循環推進フォーラムとの共催セミナー（費用案分）、3R推進全国大会への出展
5. その他経費	0	0	0	総会・理事会開催費用（オンライン開催のため、支出なし）
6. 事務局経費	0	0	0	上記1～5に係る事務局経費（人件費及び事務局運営諸費用）。実際に発生した事務局経費は、協議の結果、産業環境管理協会が負担
7. 管理費	100,000	429,175	329,175	通信費、消耗品購入費、振込手数料等（直接事務に係る費用のみ。事務局運営諸費用を除く）。当年度固有のもの（一時的なもの）として、ホームページサーバーの古くなった一部のソフトウェアの更新費用（約35万円）を計上。
当期支出合計（B）	4,800,000	4,883,916	83,916	
当期収支差額（A）－（B）	4,489,000	4,408,111	△ 80,889	

2024年度事業報告書及び決算報告書

B. 決算報告（続き）

正味財産増減計算書
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)
(単位：円)

科 目	金 額
I 増 加 の 部	
当期経常収益	4,052,918
増 加 額 合 計	4,052,918
II 減 少 の 部	
当期経常費用	4,883,916
減 少 額 合 計	4,883,916
当期正味財産増減額	-830,998
前期繰越正味財産額	5,239,109
期末正味財産合計額	4,408,111

貸 借 対 照 表
2025年3月31日現在

(単位：円)			
科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
現金	13,082	未払金等	0
普通預金	4,182,686	預り金	20,587
未収入金	0		
前払費用等	232,930	III 正味財産の部	4,408,111
合 計	4,428,698	合 計	4,428,698

2024年度事業報告書及び決算報告書

B. 決算報告（続き）

財 産 目 録
2025年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資 産 の 部	
現金 現金手許残高	13,082
普通預金 三菱UFJ銀行本店	4,182,686
未収入金	0
前払費用	232,930
資 産 合 計	4,428,698
II 負 債 の 部	
未払金等	0
預り金	20,587
負 債 合 計	20,587
正 味 財 産	4,408,111

計算書類に対する注記（2024年度）

1. 重要な会計方針
- (1) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金、預金、未収入金、前払費用、未払金及び預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は2.に記載のとおりである。
- (2) 消費税は、税込方式を採用している。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	15,602	13,082
普 通 預 金	5,424,537	4,182,686
未 収 入 金	80,000	0
前 払 費 用	0	232,930
(合 計)	5,520,139	4,428,698
未 払 金	281,030	0
預 り 金	0	20,587
(合 計)	281,030	20,587
次期繰越収支差額	5,239,109	4,408,111